

■歌詞と関連聖句

No.1 Var.0

小シンフォニア(Sinfonia)

-

No.2 Theme

星を見上げて(テーマ)

空に輝く 不思議な星よ!
どうして光る? 何があるのか
明るく光る 不思議な星よ!

星はきらめき 喜び告げる
救いの御子が 今 生まれたと
星は伝える 嬉しい知らせ。

No.3 Var.1

大いなる光

闇の中を歩む民は見る、
大いなる光を!

イザヤ 9-1

No.4 Var.2

待降のキャロル

闇夜を照らす光、おう! 主イエ ス! この世に来ませ。
久しく待ち望む、暁の星なるイエス。
この世の闇を裂き、おう! 君よ! 来たりて輝け!

No.5 Var.3

みつかい告げる(受胎告知)

みつかい告げる おとめマリアへ。
かみのひとりご なれよりうまれ、
この世をおさめ ともにおられる。

ルカ 1:26-38

No.6 Var.4

マリアの讃歌(Magnificat)

Magnificat anima mea Dominum.
Et exsultavit spiritus meus
in Deo salutari meo.
Quia respexit humilitatem ancillae suae;
Ecce enim ex hoc beatam me dicent
Omnes generationes.
Quia fecit mihi magna qui potens est;
Et sanctum nomen eius.
Et misericordia a progenie in progenies
Timentibus eum.
Fecit potentiam in bracchio suo,
Dispersit superbos mente cordis sui.
Deposuit potentes de sede
Et exaltavit humiles.
Esurientes implevit bonis, Et divites dimisit inanes.
Suscepit Israhel puerum suum
Recordatus misericordiae suae.
Sicut locutus est ad Patres nostros,
Abraham et semini eius in saecula.
Gloria Patri, Gloria Filio, Gloria et Spiritui sancto!
Sicut erat in principio et nunc
Et semper et in saecula saeculorum. Amen.

ルカ 1:47-55

わが心は主なる神を まごころもて崇めまつる。
わが魂 救いの主を 喜びもて褒め讃える。
主は卑しきわが身にさえ その眼差したもうゆえ。
今よりのち 世の人 皆 我を呼ぶ いても幸いなもの!
み力もて主はこの身に 大いなるわざなしたがゆえ
聖なる主の御名、主の御名 尊く、
その憐れみは その憐れみは 主を恐れる者に世々限りなく。
主はみ腕で力をふるい、驕れる者を打ち散らし、
権力者を引き下ろし、低き者を高くあげ、
飢えた者を良きもので満たし 富める者を退ける。

主は憐れみを忘れず 僕(しもべ)イスラエルを救われた、
わが祖先に言われたとおり、
アブラハムと子孫に永遠(とこしえ)に。
栄光は父と、子と、聖霊に 始めも今も 永久(とわ)にアーメン。

No.7 Var.5 ベツレヘムへの旅路	荒野(あらの)を進む ヨセフとマリア ナザレをい出て、ベツレヘムへと。 そこに宿なく、馬屋に宿(しゆく)す。	ルカ 2:4
No.8 Var.6 ベツレヘムの馬小屋で (イエスの誕生)	ユダヤの町ベツレヘム 粗末な馬小屋に 密(ひそ)かに横たわる マリアに今、 初子(ういご)が生まれる。 輝く星の光のもとに 貧しきまぶねのなか、 やすらに眠る 嬰兒(みどりご)主イエス。 ダビデの町ベツレヘム 聖なるその時に 低きに生まれたもう 見よ! 清らかに眠れる 嬰兒(みどりご)はキリスト!	ルカ 2:6-7
No.9 Var.7 羊飼いのカノン	-	ルカ 2:8
No.10 Var.8 羊飼いへの良き知らせ	みつかい天より告げる牧人へ 栄光が天に、地には平和があるように 御子イエス、天よりくだる みすくいのために	ルカ 2:13-14
No.11 Var.9 天使の讃美 (Gloria)	Gloria in excelsis Deo. Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.	ルカ 2:14
No.12 Var.10 馬屋に急げ!	急いで行こう 主イエスは生まれた。 星は導く ベツレヘムへと。 馬屋の中に 救いの喜び。	ルカ 2:15-16
No.13 Var.11 みどり子イエスの子守歌	みどり子イエスは まぶねに眠る。 われらの罪を その身に負うため、 貧しく清く 眠る神の御子。	ルカ 2:17 マタイ 2:11
No.14 Var.12 洗礼者ヨハネ	洗礼者ヨハネ、荒野(あらの)に立ち、 叫び、告げる、世の民に。 「悔い改めよ、天の国は近づいた」 その日、イエスはヨルダンの地で、 洗礼を受ける、ヨハネより。	マタイ 3:1-15
No.15 Var.13 鳩のように(イエスの洗礼)	イエス、洗礼を受け 天がイエスに向かい 開く。 神の霊が 鳩のように 主イエスの上を下る。 「これは私の愛する子 心に叶うもの」と 天より声がする。	マタイ 3:16-17
No.16 Var.14 イエスの弟子	イエスはその眼差し 漁師らに注ぐ。 シモンとアンデレ、ヤコブとヨハネ、 ガリラヤの水辺で イエスの弟子となる。	マルコ 1:16-20

No.17 Var.15 カナの婚礼 -イエスの最初のしるし	ガリラヤの地、カナの婚礼の時に、 集うイエスに母のマリア言う、葡萄酒が尽きたと。 イエスは言う、水瓶に水を注げと。 召し使いらが石の水瓶に水を満たすと おう、瓶に満つ-るはぶどう酒の香り！ 香しきそのしるしをもて、 主イエスは栄光をあらわす。	ヨハネ 2:1-11
No.18 Var.16 イエス山に登る	山の上にイエスは登り、座して神の言葉を語る。 弟子らはそこに集まり 主イエスの言葉を聴く。 山の上にイエスは登り、座して弟子らに語る。	マタイ 5:1-2
No.19 Var.17 山上のイエスの言葉	「心の貧しい人々は、幸いである、 ／天の国はその人たちのものである。 悲しむ人々は、幸いである、／その人たちは慰められる。 柔和な人々は、幸いである、／その人たちは地を受け継ぐ。 義に飢え渴く人々は、幸いである、／その人たちは満たされる。 憐れみ深い人々は、幸いである、／その人たちは憐れみを受ける。 心の清い人々は、幸いである、／その人たちは神を見る。 平和を実現する人々は、幸いである、 ／その人たちは神の子と呼ばれる。 義のために迫害される人々は、幸いである、 ／天の国はその人たちのものである。	マタイ 5:3-10
No.20 Var.18 疲れた者、重荷を負う者	疲れた者、重荷を負う者、わが元に来たれ。なれを休ませよう。マタイ 11:28-30 わが軛(くびき)を負い、我に学べ。されば安らぎを得ん。 わが軛(くびき)は負いやすく、わが荷は軽いから。	マタイ 11:28-30
No.21 Var.19 イエス湖上を歩く	おお、主イエス湖上を歩く。 弟子らは恐れ、怯え叫ぶ。主イエス、安きを与う。 おお、主イエスペテロをまねく。 ペトロは恐れ、助けを求める。主イエス、ペトロを諭す。	マタイ 14:25-31
No.22 Var.20 ラザロの死と甦り	嘆くマルタ、嘆くマリア 愛するラザロは死んだ。 主イエスは泣き、そのみ父に願い祈る。 主のみ声に、主のみ声に、ラザロはその目を開ける。	ヨハネ 11:1-44
No.23 Var.21 イエスにすがる 2 人のカノン	「主よ、あわれみをお与え下さい！」 主を追い、叫び、すがる 目を病める二人を、 イエスは憐れみ、その目開き癒す。	マタイ 20:29-34
No.24 Var.22 エルサレムに向かう プレリュード	-	
No.25 Var.23 ダビデの子、ホサナ	おう! 主は行く イエスはロバの子に乗り、 向かうは、イエルサレム、そこはダビデの都。 人々集まり、その服を道に敷き しゅろの木、その枝、切ってその道に敷き、 皆叫ぶ、ホサナ、いと高き所に、 ダビデの子、ホサナ、祝福あれと!	マタイ 21:6-9 マルコ 11:7-10 ヨハネ 12:12-15
No.26 Var.24 ユダの裏切り	ユダはイエスへの裏切り謀る。 銀貨 30 枚で、その心売る。 今忍び寄る、謀略の時。	マタイ 26:14-16 マルコ 14:10-11

No.27 Var.25 ゲッセマネの祈り	イエスはゲッセマネにて 恐れ苦しみ 弟子らに言う、 私は悲しみに死ぬばかり。 ここを離れず 目覚めてあれ。 進みひれ伏し、この苦しみのときが去るように祈る。 アッパ父よ、この杯を去らせよ、 しかし、汝が御心のままに!	マタイ 26:36-42 マルコ 14:32-39
No.28 Var.26 イエス捕らわれる	見よ迫り来る 兵士の群れを ペトロの剣、収めさせた主、 今囚われて、裁きに向かう	マタイ 26:46-56 ヨハネ 18:3-13
No.29 Var.27 大祭司の前で	とらわれたイエスに 大祭司カイアファ問う。 お前は神の子、メシアなのか? イエスの返す言葉に大祭司怒り 人々イエスの死刑を求む。	マタイ 26:57-68
No.30 Var.28 ペトロに迫る人々のカノン	「おまえも仲間だ 言葉でわかる。 ナザレのイエスの一味 弟子の一人だろう」 ペトロは打ち消す 「そんな人は知らない」。	マタイ 26:69-74 マルコ 14:66-71 ルカ 22:55-60 ヨハネ 18:17, 25-27
No.31 Var.29 ペトロの改悛	ペトロはイエスを 三たび否んだ。 鳥の声聞き、イエスの言葉が こころに響き、激しく泣いた。	マタイ 26:75 マルコ 14:72 ルカ 22:61-62
No.32 Var.30 シンメトリーなアリア (言葉と音楽の回文)		
No.33 Var.31 法廷	祭司長と長老ら、 死刑をたくらみ、 イエスをピラトにひきわたす。 偽りの言葉、連ねても、 イエスは黙して応えず。 釈放者をピラトが問うと 民らはバラバ!と叫び、 イエスの処分を問うとき、 彼ら言う	マタイ 27:11-22
No.34 Var.32 猛る群衆のカノン	「十字架につけよ!」 群衆みな叫ぶ。 「イエスを十字架に!」 罪人バラバを解き放ち、 罪なきイエスに罪負わす。 イエスキリスト、十字架を その身に負い、道を行く。	マタイ 27:22-23 マルコ 15:12-15 ルカ 23:21-25 ヨハネ 18:39-40

No.35 Var.33 兵士らイエスをなぶり	兵士らイエスを なぶり、 押んで 唾かけ 叩く。	マタイ 27:27-30
No.36 Var.34 十字架へのプレリュード	-	
No.37 Var.35 十字架のフーガ	十字架負い、主イエスは行く。 ゴルゴタの丘へ、 十字架負い、主イエスは行く。 いばらの冠 み頭にのせ、 十字架負い、主イエスは行く。	マタイ 27:31-34 マルコ 15:20-22 ルカ 23:26 ヨハネ 19:16-17
No.38 Var.36 イエスの死	おう! 我が罪は、我が咎は 主イエスを打つ。 十字架の上、神の子イエスは、 おう! 世の罪をすべて負い 死にたもう。	マタイ 27:50 マルコ 15:37 ルカ 23:46 ヨハネ 19:30
No.39 Var.37 神の子羊(Agnus Dei)	苦しみ、 十字架の死により 主イエス我らの罪を贖う。 子羊イエスは 十字架の上で、 神の約束 今果たされる。	エペソ 1:7 コロサイ 1:14 テモテ I 2:6 ヘブル 9:15
No.40 Var.38 イエスの墓で	夜明けのとき マリアたちは 香油を持って イエスの墓に行く。 けれども その墓はあけられ 白い衣の 若者 言う。 「驚くことはない、 十字架につけられた ナザレのイエス - あの方は 甦えられた! ガリラヤに行かれ 弟子らと会う」。 婦人ら墓を出て 逃げ去り 震えあがり 誰にも語らず。 週 始めの朝、 復活されたイエスは マグダラのマリアに現れた。 マリアはこれを 悲しむ人々に伝えた。	マタイ 28:1-10 マルコ 16:1-10 ルカ 24:1-9 ヨハネ 20:1-18
No.41 Var.39 復活のプレリュード	-	
No.42 Var.40 復活のフーガ	さあ! 喜び歌え! イエスは蘇られた。 死を打ち破り 永遠の命を給う。 さあ! 主イエスを称え、 神に感謝捧げよう。 さあ! 主イエスを見上げて 共に歌え Hallelujah, Hallelujah!	マタイ 28:7-8 マルコ 16:14-15 ルカ 24:45-48 ヨハネ 20:19-21
No.43 Theme 再び星を見上げて	見上げる空に 星は輝き、 変わることなく 証し伝える、 神のみわざを イエスの恵みを。	